

成高

SEIJU

2008年

第39卷

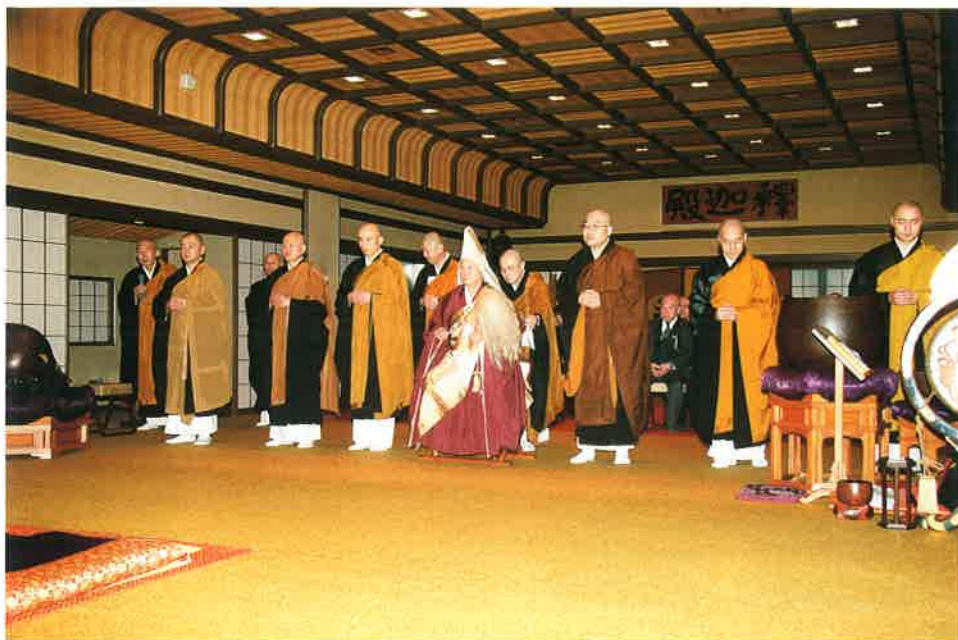
冬習





沙門 仁表





特集

思い出の中に、

善光寺の新たなスタートを

開山忌

二世 大圓武志大和尚

報恩供養



開山忌 焼香師 本寺光真寺住職 黒田俊雄老師



大圓武志大和尚報恩供養 焼香師 大乘寺山主 東隆眞老師



頂相点眼法要



頂相の説明をする博志住職



開山樸庵白純大和尚頂相の前にて

平成二十年二月九日、善光寺釈迦殿において開山忌と合わせて大圓武志大和尚報恩供養が行われました。開山忌は大田山光真寺住職黒田俊雄老師、大圓武志大和尚報恩供養は大乗寺山主東隆眞老師にお勤め頂きました。釈迦殿には関係のご寺院様、檀信徒総代、親類縁者をはじめ、善光寺と大圓大和尚にゆかりのある方々が集いました。

大圓武志大和尚報恩供養では、昨年、第十二回育英生胡建明師より贈呈された大圓武志大和尚の頂相わんざう二幅の点眼法要も執り行われました。この頂相にいただいた賛は当日の導師を勤められた黒田俊雄老師と東隆眞老師によるものです。壇信徒総回向、黒田俊雄老師、東隆眞老師のごあいさつに続いて、長年善光寺の発展にご貢献をいただいた、檀家総代梅澤道雄様、城下栄三郎様、頂相をご贈呈いただいた胡建明師に善光寺



頂相の作者胡建明師



梅澤道雄さん



城下栄三郎さんの奥様（代理出席）

から感謝状が贈られました。  
祭壇に並んだ頂相とともによ  
みがえる大圓大和尚の在りし日  
の思い出。熊谷総代のごあいさ  
つにも大圓大和尚の姿が鮮明に  
写し出されていきました。そして、  
締めくくりは博志住職のごあい  
さつ。自身の結婚と育英会再開  
の報告と『宗祖を通して釈尊に  
還る』大圓大和尚が大切にして  
いた開山忌の意義を参列の皆さ  
んに伝えました。大圓大和尚の  
思い出とともに過ごした温かい  
ひとときは、善光寺が新しい時  
代に進むためのスタートの瞬間  
でもありました。





# 頂相のご紹介

敬讚善光二世大圓武志大和尚頂相

多年求道訪西東

育英教化顯神通

志仁樂天真德滿

般若光裡圓覺融

平成十九年丁亥五月吉日

光真三十七世光純俊雄書





善光寺二世中興武志大和尚真贊

釈尊両祖直通禪

教化無辺願力堅

証去修來精進徳

圓光炳六十八年

露

中興武志大和尚

破顔微笑成寿山

平成十九年八月十六日

加賀栲樹林大乘寺東隆眞敬賛

(注) 頂相は描かれている像の顔の顔の向きによって、賛の書きははじめがきまります。この二幅の頂相は向かって左を向いているので、左の行から始まります。